



デュセラム キス

製品マニュアル

ベニアリング用ポーセレン



Duceram
Keep it simple and safe.



DENTSPLY
SANKIN



デュセラム キスに関する一般事項

適用：

クラウン・ブリッジのメタルフレームとコーピング用ベニアです。

重要な注意：

熱膨張係数（CTE）が $13.8\sim 15.4\ \mu\text{m}/\text{m}\cdot\text{K}$ の高融点合金以外の合金では使用できません。

使用上の注意：

最低融解温度が $1030\text{ }^{\circ}\text{C}$ の合金のみ使用できます。

データ：

- デンチンのCTE： $13.0\ \mu\text{m}/\text{m}\cdot\text{K}$
- 歯科用セラミック材料：DIN EN ISO 6872 に基づきタイプ1 クラス2~8
- メタルセラミックボンドの性質：DIN EN ISO 9693 に基づいた曲げ強度と化学的溶解度

輸送および保管：

- 液体が氷点下になるのを避けてください。
密閉容器に入れて $10\text{ }^{\circ}\text{C}\sim 25\text{ }^{\circ}\text{C}$ で保管してください。
- パウダーとペーストを光から守ってください。
振動のない場所に保管してください。
- 湿気厳禁

安全上の注意：

- 研磨中に塵粒を吸い込まないでください。



The ceramic competence

デグデントーベニアリング用セラミックのスペシャリスト 4

Kiss – Keep it simple and safe

キスーベニアリングコンセプト 5-7

キスはさらに進化 8

Working technique

レイヤリング前の準備 9

ポーセレンマージンテクニック 10-11

審美性の定義 12

基本の審美性 13

個別の審美性 14-16

Service

焼成アドバイス 17-19

シェードコンビネーション表 20

製品各種 21

略語 22

メモ 23



デグデントーベニア用セラミックスのスペシャリスト

デグデントー
歯科セラミックス分野の革新者であり、
テクノロジーのリーダーでもあります。

セラミックス材料の重要性はますます注目を浴びるようになっていきます。

セラミックスは、最も理想的な形で審美性、耐久性、生体親和性を兼ね備えた材料です。

デグデントは独自の研究開発部門を備えており、セラミックス材料を自社で生産しています。

デグデントが革新技術で成功している理由はここにあります。

デグデントは、デュセラムゴールドキスベニアリング用セラミックスやセルゴ圧縮セラミックスから、将来の歯科材料であるジルコニアまで、どのようなクラウン・ブリッジ修復物にも使用できる特殊なベニアリングセラミックスとフレームセラミックスを開発しています。

新しいデュセラムキスベニアリングセラミックスであれば、常に新技術を導入しようとする歯科医師や歯科に関心の深い患者様の期待に応えることができます。



キスーベニアコンセプト

物事を複雑にすることほど簡単なものはなく、簡単にすることほど難しいものではありません。真の開発とは、簡素化することであり、決して複雑にすることではないのです。

デュセラム キスは、73 のポーセレンパウダーのみを使用することで、機能的なセラミックスの基準を新しく塗り替えました。

このシステムが提供する美に対して懐疑的であった方も、シェードの再現性が格段と改善されたことに満足していただけるとおもいます。

しかし、通常使用している110 から120 ものセラミック・パウダーの数を、品質を落とすことなく減らすことができるものなのでしょうか？

これに対する3つの解決法を紹介します。

第一に、デンチンパウダーとオペークパウダーの新しい色素を使用します。この方法では、基本のビタシェードのレイヤリングの際にインテンシブを使用する必要はありません（個々のケースで異なります）。

第二に、インテンシブとインサイザルパウダーをさらに詳細に分類します。

第三の方法は、シェードと効果、材料を的確に組み合わせた新しいコンセプトを開発します。目的通りに設計されたケースであれば、この新しい完璧なシステムで、どのような修復物でも完璧に作ることができます。

…ベニアリング技術の新しい方向性が決まる時が来ました…

Jürgen Braunwarth

CMDT Jürgen Braunwarth



デュセラム キスの理想的なパートナー



技術仕様	デグデント キス
組成%:	Au: 79.4 Pt: 10.5 Pd: 6.0 Ag: 1.3 In: 1.5 Ir: 0.1 Ta: 0.2 Zn: 1.0
融点範囲:	1140–1220 °C
CTE:	14.1 μm/m·K (25–500 °C) 14.3 μm/m·K (25–600 °C)
硬度:	a: 230 HV5 g/b: 220 HV5
降伏強さ0.2 %:	a: 590 N/mm ² g/b: 590 N/mm ²
引張強さ:	a: 670 N/mm ² g/b: 670 N/mm ²
破折時の伸び率%:	a: 4 g/b: 6



技術仕様	バイオクルーズ HT
組成%:	Au: 85.4 Pt: 12.0 Rh: 0.4 Ir: 0.1 Zn: 1.8 Nb: 0.1 Fe: 0.2
融点範囲:	1055–1130 °C
CTE:	14.5 μm/m·K (25–500 °C) 14.7 μm/m·K (25–600 °C)
硬度:	a: 230 HV5 g/b: 220 HV5
降伏強さ0.2 %:	a: 530 N/mm ² g/b: 510 N/mm ²
引張強さ:	a: 630 N/mm ² g/b: 610 N/mm ²
破折時の伸び率%:	a: 6 g/b: 6

デグデント キスとバイオクルーズ HT はどちらもハイプレシヤス合金で、考えられ得る最良の方法で患者の希望に応えることができます。

デグデントのキスの強度は優れており、処理が簡単で安全です。

操作が簡単・安全：

- ・小さいCTE、短い冷却期間。
- ・優れた変形抵抗。このおかげで様々なインプラント修復物にも理想的に適している。
- ・高速加熱も可能。
- ・ロングスパンブリッジにも適している。
- ・淡色の酸化物。

バイオクルーズ HT は弊社の実績ある強靱なバイオ合金で、長年にわたり歯科技工士が好んで利用してきました。この合金にはパラジウムも銅も含まれておらず、色は濃い黄色です。

操作が簡単・安全：

- ・キャストが簡単で安全
- ・優れた研磨特性
- ・簡単で速い酸処理
- ・広い適応範囲
- ・淡色の酸化物



操作が簡単・安全



キスカラーホイール

操作が簡単・安全—もちろん、これもキスカラーホイールの開発を行うに当たってのモットーです。このカラーホイールで、ビタシェードと類似のキス・ポーセレンパウダーを迅速にかつ簡単に探すことができます。対応するビタシェードが決まったら、下にある5つのフィールドに自動的にその他のカラーの割り当てが全て現れます。

上のライトブルーの部分で、オパーク、デンティン、インサイズル、マージンの材料などの基本のレイヤリングテクニッ



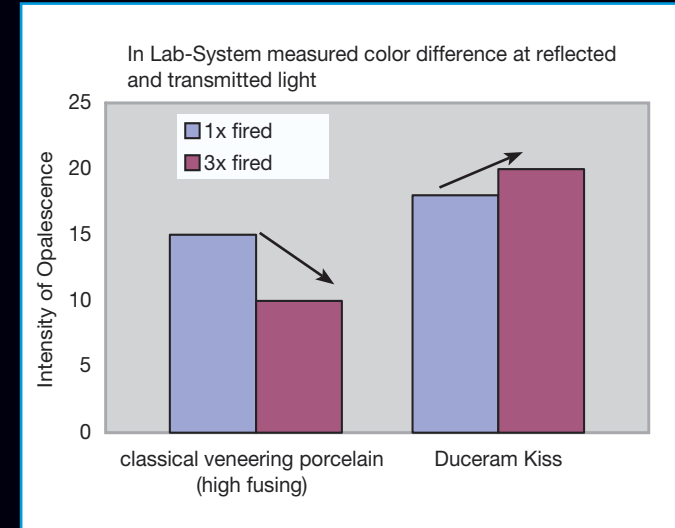
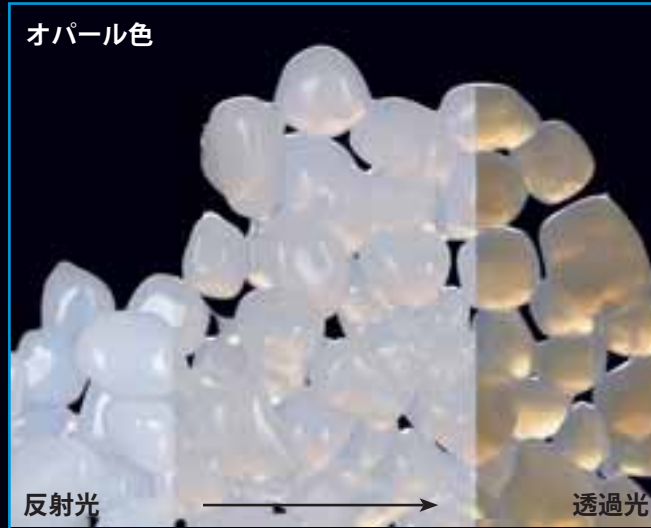
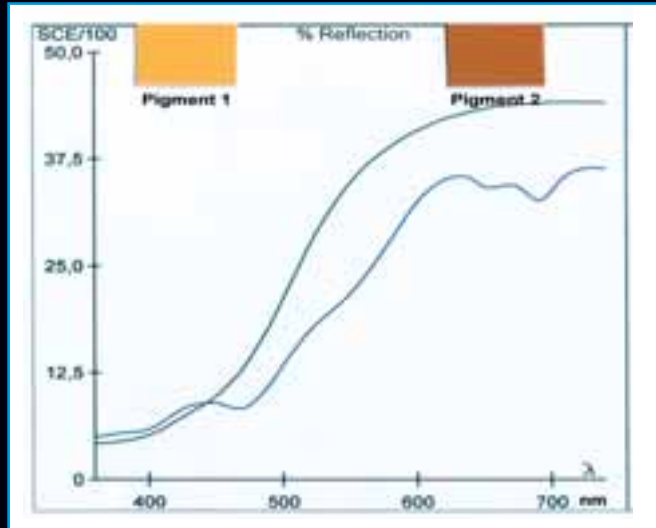
キャリア

クのデータを見ることができます。レイヤリングテクニックに適したパワークロマ、フルインサイド、オパールインサイザルなどのパウダーを見ることができます。

キャリアはカラーホイールを論理的に縦に伸したツールで、パワークロマの場合、両フィールドに1対1の割合で入れて混和します。このキャリアを使い2つのパウダーを混和すると、全く同じ物が常にできあがります。



キスはさらに進化します



カラー信頼性

セラミックス材料の色の数を可能な限り最大限に利用することで、デュセラムキスはビタシェードと関連した色に対する信頼性を増すという点でも成功しています。また、シェードの色目は、通常の室内の明かりや室外の日光などの光源によって変わるため、色の数を最適化することで、メタメリズムの問題を大幅に解決することにもなります。

審美性

審美性に関しては、キスを使用することで、より速くより簡単な方法で最高品質のレイヤリングが可能です。そのうえ、特許を得た生産プロセスを利用して、オパール材料（修復物に自然で、かつ生き生きとした光を持たせる）を最適化しています。

処理信頼性

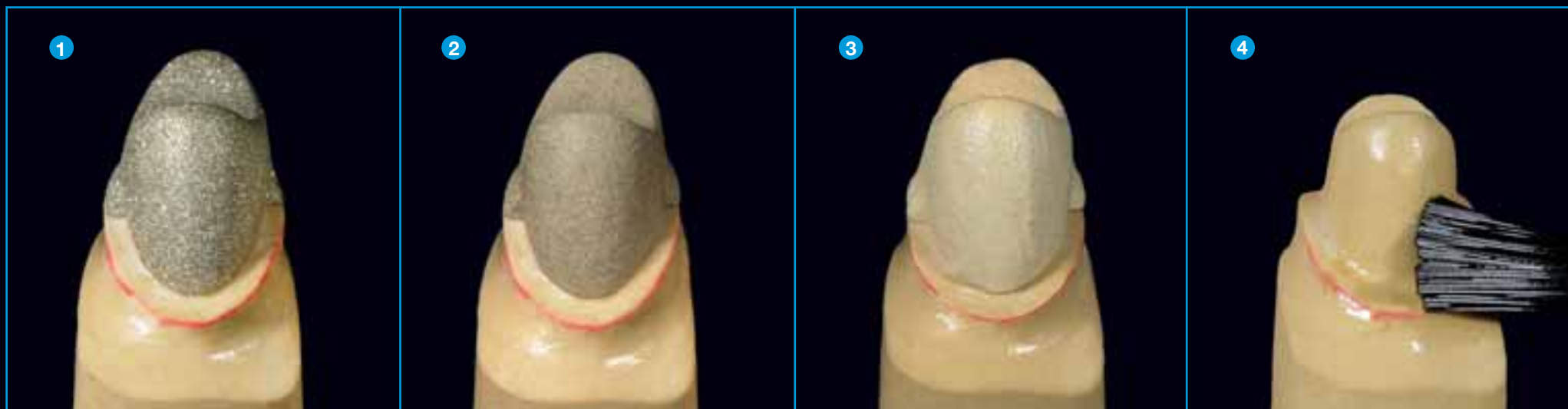
従来の高溶ベニア用セラミックスでは、オパール色の効果は、焼成を多数回重ねると失われてしまいます。デュセラムキスの場合は、この効果が失われることなく持続します。デュセラムキスの操作は、これからもさらに簡素化が進み、処理信頼性を増していきます。



レイヤリング前の準備

(ポーセレンマージン用準備の例です)

歯科修復物：
CMDT Jürgen Braunwarth



1. フレームワークの準備:

カーバイドバーで調整後、メーカーよりメタル処理の指示が特でない限りは、合金フレームを2バールの圧力で（ノンプレシヤスメタルの場合は4バールまで）酸化アルミニウム（100～150 μm）を用いてサンドブラストします。

セラミックマージン(例：上述)の作成時には、カーバイドバーを使用して、クラウンマージンをシャンファーまたはショルダー形成の最下部よりも0.5～0.8 mm 上のところに設定します。また、セラミック材料内に張力が発生しないよう、クラウンマージンのテーパを静かに切削するよう注意してください。

2. 酸化:

製造業者のアドバイスに従って、完成した合金フレームを酸化します。次に、酸処理またはサンドブラストの何れかで酸化物を除去します。この方法は使用した合金や製造業者の指示によって選択します。

3. オペーク焼成:

デュセラムキスでは、合金フレームのベースカラーはペーストオペークとパウダーオペークから選択します。どちらを選択しても、最初のオペークは部分カバーするレイヤーに均一に塗布し、焼成します（P.17～19の焼成アドバイスを参照してください）。バイオ合金を使用する場合は、焼成温度を下げるために最初のオペーク焼成用に中性のペーストを使用してください。これは、処理の信頼性を上げることができるもう一つの方法です。次に、第二段階でフレーム全体を完全にカバーし、弊社の焼成アドバイスに従って焼成してください。

パウダーオペークに関する注意事項:

パウダーオペークをカービングリキッドOLと混和後、ブラシまたはガラス器具を用いて通常の方法で塗布します。

ペーストオペークに関する注意事項:

新しいペーストオペークは小さなガラスびんに入っています。この容器でペーストオペークのクリーム状の粘度をさらに長期間保つことができるようになりました。このオペークを希釈する場合は、希釈用に特別に製造されたペーストオペーク液を使用してください。

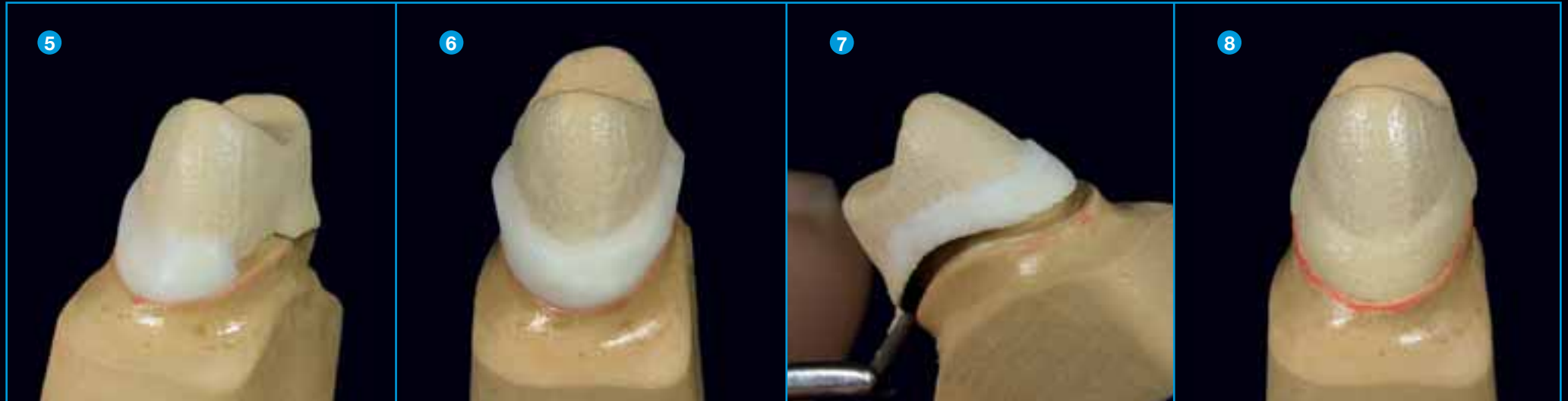
4. 分離剤:

ショルダーポーセレンを塗布する時には、支台歯に分離剤が吸収されてしまわないように最初にコーティング剤を塗布します。次に支台歯の上にセラミック分離剤を十分に塗布し、その後、短時間エアーを吹き付け、再度、分離剤を塗布します。



ポーセレンマージンテクニック

修復物：
CMDT Jürgen Braunwarth



このキスの開発中は、焼成安定性と優れた適合性を兼ね備えたマージン材料に重点を置きました。現在、5種のショルダー（SM 1～5）と新たに追加したファイナルショルダー（F SM 1～5）によって、簡単にポーセレンマージンを作成することができます。このような高度の蛍光性マージン材料は変わった色の鋳型をカバーし、審美的に困難な場合でもカバーすることができます。さらに、様々な照明条件の下でも自然に生き生きとした印象を保証します。

5./6. 一回目のマージン焼成:

このマージン材料をカービングリキッドSDクイックと混和して通常の方法で塗布します。マージン層を完全に乾燥させます（ヘアドライヤーを使用すると処理が速くなります）。

7. クラウンを取り外す:

慎重にコーピングを鋳型から取り外し、焼成アドバイスに従って焼成します（P.17~19 参照）。

8. 一回目のマージン焼成の結果:

次の二回目の焼成に備えて、マージンの収縮部分を修正します。



ポーセレンマージンテクニック

修復物：
CMDT Jürgen Braunwarth



9. 二回目のマージン焼成:

二回目のマージン焼成の前に、分離剤塗布を繰り返します。一回目のマージン焼成前と同様にマージンにパウダーを追加し、焼成アドバイスに従って焼成します (P.17~19 を参照)。

10. 二回目のマージン焼成の結果:

通常は、二回のマージン焼成で完璧なマージンの適合が得られるはずですが、何らかの修正が必要な場合には、グレース焼成後に660℃で焼成されるファイナルショルダーを用いて行います。

ファイナルショルダーのシェードは通常のショルダーのシェードと全く同じものです。

ファイナルショルダーに関する注意:

ファイナルショルダーは、修復物完成後のみに使用してください。この材料の焼成温度は低いため、ファイナルショルダーを使用した後ははんだ付けができないことにご留意ください。

11./12. ク라운の完成:

マージンを焼成した後はクラウンの残り部分を通常の方法で築盛します。デュセラムキスでは、効率の良い経済的な3種のパウダーを使用したレイヤリングテクニックか、ハイエンドのレイヤリングテクニックの何れかを選択して患者の修復治療を行うことができます。

審美性の定義

デュセラムキスを使用すると、技工所の構成や機能に合わせて所望の審美性を作り上げることができます。

デュセラムキスは2部で構成されており、別々に、または緊密に組み合わせて使用することができます。

基本の審美性:

効率の良い経済的な築盛

オペークとデンchi ティンは、彩度と蛍光性のどちらとも完璧にマッチするように作られています。さらに、6つの標準インサイザルがビタシェードに割り当てられているため、簡単にシェードを再現することができ、最終的に最高級の審美結果を得ることができます。

個別の審美性:

最高級品質

1対1の割合で各種パウダーを混和するシステムのおかげで、非常に多数のシェードを作ることができ、シェードのニュアンスを意のままに、複雑なケースでも印象的で自然に見えるようにできます。キスは、天然歯と同じように、自然光の下での印象をさらに完璧なものにします。

- 時間節約
- コンパクトな品揃え
- 保管費用が安い
- スピーディーな築盛
- 100%の再現性

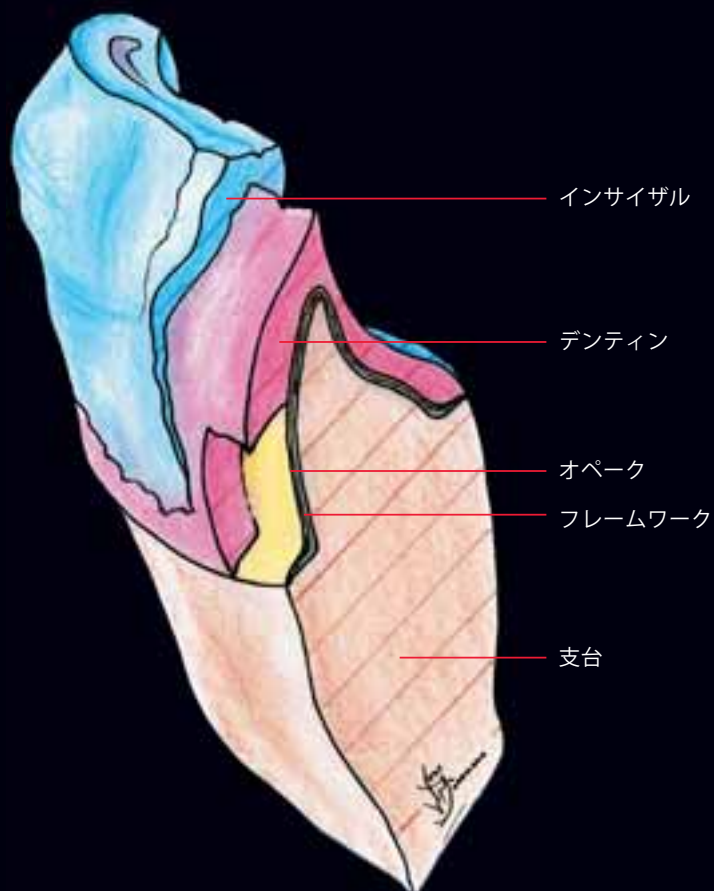
- シェードの種類が豊富
- 多機能なパウダー
- 光パウダー
- 最高級の審美性
- 美と完璧



基本の審美性

ビタシェードはどれも40のパウダー単体で再現でき、混ぜて使う必要はありません。また、切端部のビタシェードの再現に6つのインサイザルパウダーを使えば、さらに良い結果が得られます。

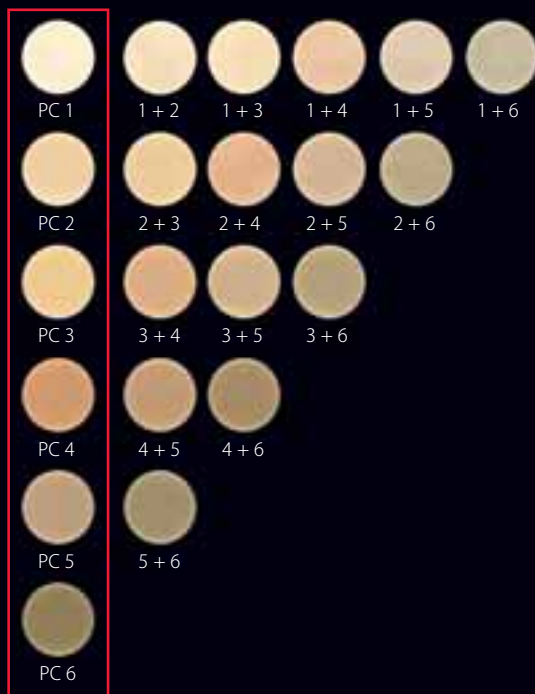
オペークパウダーは、いずれもベースシェードにぴったりと適合し、その蛍光特性のため、変化するシェードを再現するのに適しています。簡単に成果が出せることが保証されているので、毎日の作業の開始が楽しみになるでしょう。シンプルなのがベスト。それがキスです。



個別の審美性

1対1 混和で、豊富な色

パワークロマ シェード分類システム



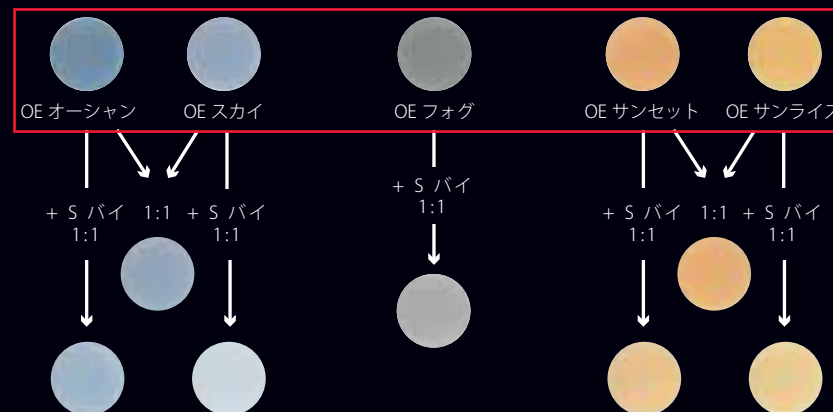
6種類の蛍光色のパワークロマによって、彩度を上げるだけでなく、歯頸部から切縁部までほとんど完璧に再現することができます。このパワークロマを1対1の割合で混和するだけで、さらに15の新しいシェードができあがります。非常に微妙な色の濃淡も速やかに系統立てて模倣することができます。

スタンバイ



多機能パウダー「スタンバイ」多機能材料には強力なオパール効果があり、キスシステムの要の一つです。単体でも、また他の材料と混和しても使用できます。3つのオパール効果、オーシャン、スカイ、フォグで、青みやグレーがかった切縁部の明度とオパール色をコントロールします。

オパールエフェクト 5種類



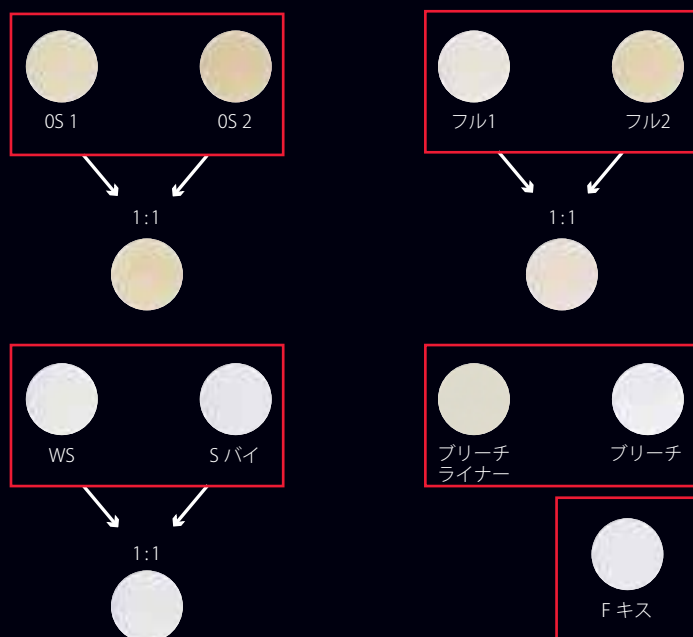
サンセットとサンライズは切縁部の特徴づけに適しており、ボディの微妙な透明な彩度を下げるためにも使用されています。



個別の審美性

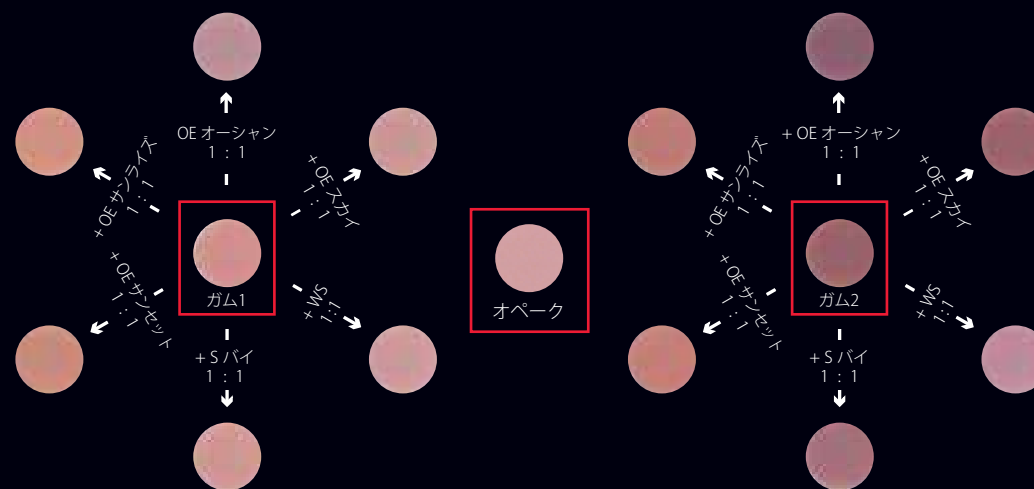
1対1 混和で、豊富な色

明度調節 5種類のインサイザル



キス・コンセプトのインサイザルパウダーはどれも自然なオパール色や蛍光色の効果を模倣することができます。オパールインサイザル1と2で、それぞれ明るいシェード(OS 1)と暗いシェード(OS 2)ができます。中間のシェードは、この2つの材料を1対1の比率で混和するだけでできます。フルインサイド1と2も同様です。

歯肉のシェード 2種のガムパウダー



蛍光材料は内層に使用し、十分にカバーする必要があるオペークも最小の厚さでカバーでき、また、切縁部の明度を上げることができます。ホワイトサーフェス (WS) は白みがあったオパール色に光る効果を発揮し、歯面の明度を上げるのに使用します。スタンバイを追加すると効果は半減することができます。

歯のブリーチ効果の再現には、ブリーチライナーやデンチンブリーチをご使用ください。特別タイプの補正材料は透明なファイナルキスです。特別な効果のあるガムパウダー1と2(図参照)と混和することで、自然な歯肉の特徴を最も効率よく模倣することができます。

シェードのむらは印刷品質によるものです



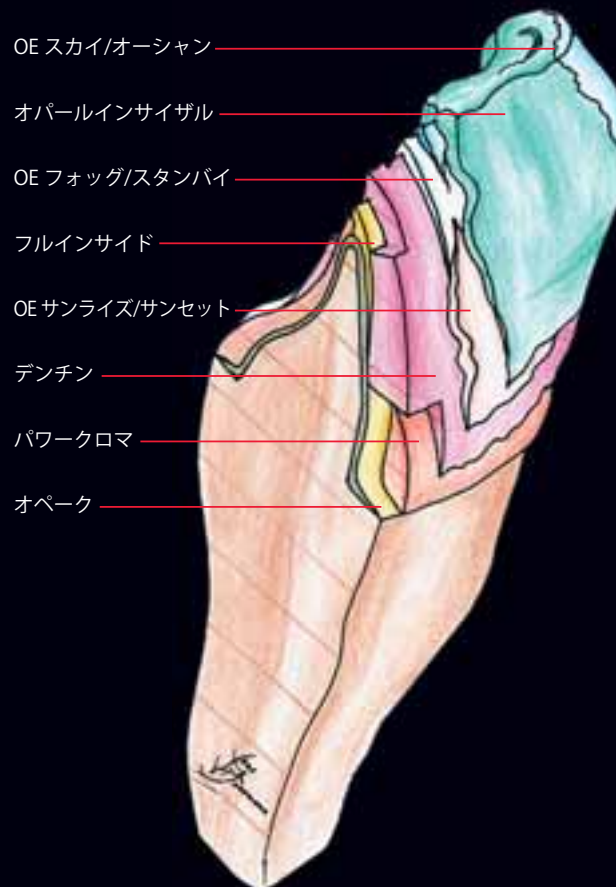
個別の審美性

基本のレイヤリングテクニックと個別のレイヤリングテクニックの違いは、目で認識できるものであり、達成は簡単でなければなりません。デュセラムキスは、歯科技工の最高峰を達成できるよう設計されています。

前述したように、キスコンセプトは、歯の自然な美しさを完全に再現できるシェードの種類の多さにあります。

早ければオペーク築盛段階でも、自然な外観に整えることができます。次の築盛段階で、歯頸部と咬合面に21のパワークロマパウダーを使用して、彩度と蛍光性のバランスを十分に保った自然な外観と深みを作り上げます。

特に薄い層や審美性が要求される場合は、蛍光色の強いフルインサイドでフレームやコーピングをカバーする必要があります。この材料をフレームやコーピングに直接塗布するだけで、築盛の図解のように切縁部を伸ばすことができます。



フレームからセラミックまでの重要な移行部で光を散乱し反射して、フレームの切縁部を光学的に見えないようにします。

デンチン層の追加築盛は通常の方法で行います。まず全体の形を築盛してから、正確に明確にカットバックを築盛します。また、多機能材料であるスタンバイを用いて色調を落とすことができるパワークロマを再度使用して、切縁部を築盛します。

切縁部の築盛は、インサイザル、オパールインサイザル、オパール効果のあるパウダーを総合的に選択して行います。はっきりとした黄色み、またはオレンジ色がかったオパール効果のパウダーを使用して、使用したベースのシェードを効率よくサポートします。同時に、深みと透明感を歯に持たせて自然に見えるようにします。着色した歯でも、グレーがかったオパール色のパウダー（OE フォッグ）を用いて問題なく自然な外観に再現することができます。二回目のデンチン焼成のために、ホワイトサーフェスを用いて、脱灰部分をシミュレートすることによって光学的に隆線を強調することができます。キスコンセプトは、単純ではあるけれども確実な方法で自然に見えるようにします。

デュセラムキス焼成に関する一般的なアドバイス

焼成に関する一般的な情報:

1. 状況に応じて、80 °C/分の加熱速度で従来の合金（バイオ合金ではない）やノンプレシャス合金と一緒にデュセラムキスを焼成することができます。加熱速度を速めるときは、焼成温度も10 °C 上げてください。

2. 例えば14.5 μm/m K (25~600 °C) のCTE の合金では長時間の冷却/焼戻し処理が必要となります。

3. 別のセラミックス・ファーンエスでは完全に異なった結果になります。実際の焼成温度については、その都度調節してください。

		余熱 °C	乾燥 分	加熱速度 °C/分	焼成温度 °C	滞留時間 分	真空度 hPa	焼戻し
	酸化焼成	対応する合金の取扱説明書を参照してください。						
バイオ合金プログラム	中性のペースト	575	7:00	55	900	3:00	50	-
	ペーストオペーク	575	7:00	55	900	3:00	50	-
	パウダーオペーク	575	5:00	55	900	3:00	50	-
従来の合金	ペーストオペーク1+2	575	7:00	55	930	2:00	50	-
	パウダーオペーク1+2	575	5:00	55	930	2:00	50	-
長時間の冷却なし、デグデント製キスなど	ショルダー1	575	7:00	55	920	1:00	50	-
	ショルダー2	575	7:00	55	920	1:00	50	-
	デンチン1	575	6:00	55	910	1:00	50	-
	デンチン2	575	4:00	55	900	1:00	50	-
	グレース	575	3:00	55	890	1:00	-	-
	修正	575	4:00	55	880	1:00	50	-
	ファイナルショルダー	575	4:00	55	660	1:00	50	-
長時間の冷却、例： CTE 14.5 μm/m・K	デンチン1	575	6:00	55	910	1:00	50	3分/850 °C
	デンチン2	575	4:00	55	900	1:00	50	3分/850 °C
	グレース	575	3:00	55	890	1:00	-	3分/850 °C

このリストに記載した数値はあくまでも参考です。ガイドラインとしてご使用ください。焼成結果は異なることがあり、使用したファーンエスの性能や型番、モデル、使用年数によって変わってきます。また、ガイドラインの数値は、焼成ごとに変化します。使用するファーンエスのテスト焼成を行って性能を検査することをお勧めします。数値を含めデータに関しては細心の注意を払って確認・編集しておりますが、結果につきましてはいかなる状況においても責任は取りかねますのでご了承ください。



セルゴファーマスを使用した場合のデュセラムキス焼成アドバイス

		予備乾燥		閉鎖	余熱		加熱速度	真空			最終温度	滞留時間		焼戻し	
		°C	分	分	°C	分	°C/分	On/off/ cont	on °C	off °C	°C	V 分	分	°C	分
	酸化焼成	対応する合金の取扱説明書を参照してください。													
バイオ合金 プログラム	中性のペースト	135	4:00	2:00	575	1:00	55	cont	575	900	900	0:00	3:00	-	-
	ペーストオペーク	135	4:00	2:00	575	1:00	55	cont	575	900	900	0:00	3:00	-	-
	パウダーオペーク	135	2:00	2:00	575	1:00	55	cont	575	900	900	0:00	3:00	-	-
従来の合金	ペーストオペーク1+2	135	4:00	2:00	575	1:00	55	cont	575	930	930	0:00	2:00	-	-
	パウダーオペーク1+2	135	2:00	2:00	575	1:00	55	cont	575	930	930	0:00	2:00	-	-
長時間の冷却なし、 デグデント製キ スなど	ショルダー1	135	2:00	2:00	575	2:00	55	cont	575	920	920	0:00	1:00	-	-
	ショルダー2	135	2:00	2:00	575	2:00	55	cont	575	920	920	0:00	1:00	-	-
	デンチン1	135	1:00	3:00	575	2:00	55	cont	575	910	910	0:00	1:00	-	-
	デンチン2	135	1:00	2:00	575	2:00	55	cont	575	900	900	0:00	1:00	-	-
	グレース	135	0:00	2:00	575	1:00	55	off	-	-	890	0:00	1:00	-	-
	修正	135	1:00	1:00	575	1:00	55	cont	575	880	880	0:00	1:00	-	-
	ファイナルショルダー	135	1:00	2:00	450	1:00	55	cont	575	660	660	0:00	1:00	-	-
長時間の冷却、例： CTE 14.5 $\mu\text{m}/\text{m}\cdot\text{K}$	デンチン1	135	2:00	2:00	575	2:00	55	cont	575	910	910	0:00	1:00	850	3:00
	デンチン2	135	2:00	2:00	575	2:00	55	cont	575	900	900	0:00	1:00	850	3:00
	グレース	135	2:00	2:00	575	2:00	55	off	-	-	890	0:00	1:00	850	3:00

このリストに記載した数値はあくまでも参考です。ガイドラインとしてご使用ください。焼成結果は異なることがあり、使用したファーマスの性能や型番、モデル、使用年数によって変わってきます。また、ガイドラインの数値は、焼成ごとに変化します。使用するファーマスのテスト焼成を行って性能を検査することをお勧めします。数値を含めデータに関しては細心の注意を払って確認・編集しておりますが、結果につきましてはいかなる状況においても責任は取りかねますのでご了承ください。



マルチマツトタッチ&プレスを使用した場合のデュセラムキス焼成アドバイス

		余熱		乾燥	加熱速度	焼成温度	滞留時間	真空度		焼戻し	
		°C	分	分	°C/分	°C	分	hPa	分	°C	分
	酸化焼成	対応する合金の取扱説明書を参照してください。									
バイオ合金 プログラム	中性のペースト	575	1:00	7:00	55	900	4:00	50	1:00	-	-
	ペーストオペーク	575	2:00	7:00	55	900	4:00	50	1:00	-	-
	パウダーオペーク	575	1:00	4:00	55	900	4:00	50	1:00	-	-
従来の合金	ペーストオペーク1+2	575	1:00	7:00	55	930	3:00	50	1:00	-	-
	パウダーオペーク1+2	575	1:00	4:00	55	930	3:00	50	1:00	-	-
長時間の冷却なし、 デグデント製キ スなど	ショルダー1	575	2:00	5:00	55	920	2:00	50	1:00	-	-
	ショルダー2	575	2:00	5:00	55	920	2:00	50	1:00	-	-
	デンチン1	575	2:00	5:00	55	910	2:00	50	1:00	-	-
	デンチン2	575	2:00	4:00	55	900	2:00	50	1:00	-	-
	グレース	575	1:00	3:00	55	890	2:00	-	-	-	-
	修正	575	1:00	3:00	55	880	1:00	50	1:00	-	-
	ファイナルショルダー	450	2:00	3:00	55	660	2:00	50	1:00	-	-
長時間の冷却、例： CTE 14.5 μm/m・K	デンチン1	575	2:00	5:00	55	910	2:00	50	1:00	850	3
	デンチン2	575	2:00	4:00	55	900	2:00	50	1:00	850	3
	グレース	575	1:00	3:00	55	890	1:00	-	-	850	3

このリストに記載した数値はあくまでも参考です。ガイドラインとしてご使用ください。焼成結果は異なることがあり、使用したファーンエスの性能や型番、モデル、使用年数によって変わってきます。また、ガイドラインの数値は、焼成ごとに変化します。使用するファーンエスのテスト焼成を行って性能を検査することをお勧めします。数値を含めデータに関しては細心の注意を払って確認・編集しておりますが、結果につきましてはいかなる状況においても責任は取りかねますのでご了承ください。



シェード	A1	A2	A3	A3.5	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	D2	D3	D4
	基本のレイヤリング															
オペーク	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
デンチン	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
インサイザル	1	2	3	3	5	1	1	4	6	1	5	5	6	2	4	4
	個別のレイヤリング															
オペーク	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
オペークオレンジ	咬合面、歯頸部、口蓋側の特徴づけ															
オペークブリーチ	輝く歯/漂白した歯用、通常はブリーチデンティンとの併用のみ															
オペークガム	歯肉側用															
マージンSM/F SM	1	2	2+3	2+4	3+4	1	1+3	3	3+5	1	1+4	2+4	4	1+4	2+4	3+4
デンチン	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
パワークロマ1	1+2	2	2+5	3+5	4+6	1	1+3	2+3	3+6	1+6	2+6	3+6	5+6	1+6	2+6	3+6
パワークロマ2																
パワークロマ3																
パワークロマ4																
パワークロマ5																
パワークロマ6																
	パワークロマは色彩が豊かで、蛍光色が強化されているため、それぞれ個性的なシェードを再現するのに最適です。パワークロマはどれも、歯頸部、口蓋側、咬合面のシェードのサポートに使用します。単体で使用するか、または他のシェードと1対1の比率で混和してお使いください。スタンバイと混和すると、切縁部にも利用できます。色の配置は一例です。															
フルインサイド1	x	x	Mix	Mix		x	x	Mix		x	Mix			x	Mix	
フルインサイド2					x				x			x	x			x
オパールインサイザル1	x	x	Mix	Mix		x	x	Mix		Mix	Mix			Mix	Mix	
オパールインサイザル2					x				x			x	x			x
スタンバイ	オパール色を強調したほぼ透明な多機能材料。スタンバイは、単体で使用することもできますが、セットの他の材料と混和して使用することもできます。このように、スタンバイはキス・システムの要の機能を備えています。															
OE サンセット	オレンジがかかった色や赤みがかかった色の切縁部分に対して、オパール効果を発揮します。2、3回のデンチン焼成で彩度を上げるのに非常に適しています。主にシェードA用。スタンバイと混和して希釈します。															
OE サンライズ	黄みがかかった切縁部分に対してオパール効果を発揮します。2、3回のデンチン焼成で彩度を上げるのに非常に適しています。主にシェードB用。スタンバイと混和して希釈します。															
OE オーシャン	深い青みが強くかかった切縁部分に対してオパール効果を発揮します。スタンバイと混和して希釈します。															
OE スカイ	淡い青みがかかった切縁部分に対してオパール効果を発揮します。スタンバイと混和して希釈します。															
OE フォッグ	グレーがかかった切縁部分に対してオパール効果を発揮します。スタンバイと混和して希釈します。															
ホワイトサーフェス	白歯の咬頭および前歯の口蓋/舌側隆線を強調する白みがかかったオパール効果を発揮します。スタンバイを混和して希釈します。															
ファイナルキス	低溶陶材用透明補正材料（ファイナルキス）。焼成温度は880℃。															



キスコンセプトについて

デュセラムキスのコンプリートセットの内容は、73種の材料とシェードガイド、リギッド類、ブラシ、キャリアで、化粧ケース入りです。デュセラムキスの世界に踏み出す第一歩にふさわしいセットです。

このコンプリートセットは、ガラス棒で簡単に処理できるペーストオペークだけではなく、パウダーオペークのスプレー式テクニックや標準の使用にも利用できます。

キスをはじめてお使いの方の場合は、6種のデンチンを詰め合わせたスターターセットか1種のデンチンのテストセットのご注文を承っております。



デュセラムキス コンプリートセット

品番：53 6099 0131



デュセラムキス スターターキット

品番：53 6099 0141



デュセラムキス テストセット

品番：53 6099 0151



略語

ブリーチ

A1 よりも明るく白いパウダー。主に、歯を漂白している患者に使用します。

D

デンチン。シェードに対応させて天然歯のようなデンチンコア築盛に使用します。築盛時に肉眼でコントロールできるような有機顔料で着色されていますが、この色素は完全に消失します。

ファイナルキス

グレース後の焼成に使用する修正用パウダー。

フルインサイド

蛍光性デンチン（例：切縁結節用修正材として）。強力な蛍光特性を持つデンチン。レイヤーの明度を増幅します。不可視の短波光を吸収しますが、可視の長波光を発光します。

F SM

ファイナルシヨルダー。グレース後の修正用マージンパウダー。

ガム

デンチンガム。歯肉部分を築盛するためのガム色のパウダー。例：インプラントの上部構造用。

OE

オパールエフェクト。切縁上部3 分の一の部分の個別のレイヤリングに使用します。

OS

オパールインサイザル。天然歯のエナメル質の自然な色を模倣するために使用するパウダーです。

PC

彩度を上げ、個々の特徴をつけるためのパワークロマ。

PO

ペーストオペーク。ビタシェードと一緒に使用します。不透明度が高いため、特徴をカバーするのに最適です。

S

インサイザル。切縁部の築盛に使用します。

SBY

オパール色の多機能材料で、単体または他の材料と混和して使用します。

SD

カービングリキッドSD。デンチン、調整剤、インサイザル、トランスクリアと混和して使用します。

SD-フォーム

カービングリキッドSD フォーム。SD と同じですが、塗り重ねることができます。長い乾燥時間が必要です。

SD-クイック

カービングリキッドSD クイック。デンティン、インサイザル、トランスクリアと混和して使用します。乾燥時間は短縮されます。適用：ポーセレンの咬合面、インレー／オンレー、ポーセレンのマージンや修正（コンタクトポイント→収縮率が小さい）。

SM

シヨルダー。メタルを含まないマージン用パウダー。シヨルダーまたはシャンファー形成が必要とします。

TC

トランスクリア。表面の透明度を高めます。

WS

ホワイトサーフェス。表面部分を明るくするための白いオパール色インサイザルパウダー。



メモ

A large white rectangular area with horizontal blue lines, serving as a memo or writing space.



www.dentsply-sankin.com

製造販売元 デンツプライ三金株式会社

東京本社 〒106-00041 東京都港区麻布台1-8-10

〒324-0036 栃木県大田原市下石上1382番11

製造業者 DeguDent社（ドイツ）

DENTSPLY
SANKIN